## 平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

	団体	名	武蔵野市国際交流協会								
	指標名	☆   語字ホフンティアによる翻訳通訳派這数 素   (対 国   担談事業の充実)						40件	実績値	47件	
1		去 の 単位: 件	実 績	平成14年度 16	平成15年度	平成16年度	達成	117. 5%	達成状	未実施・未達成・達成	
	取						率		況		
事	組内容	①翻訳通訳派遣についてのリーフレットを作成し、都内自治体、国際交流協会等に配布し需要を喚起した。 ②派遣依頼に対しできるだけ対応できるように、対応言語を増やしボランティアの養成を行った。 ③派遣先との事前打合せを密にするなど、派遣体制の整備を行った。 ④通訳のための基礎用語集を作成した。(2,000部印刷)									
業	<ul> <li>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</li> <li>次 ○件数目標を達成したほか、体制整備についても一定の成果を上げることができたので、今後さらなるレベルアップを目指し、翻訳通訳派遣事業を推進していく。</li> <li>価</li> <li>■国際交流協会は外国人相談事業に力を入れており、他の自治体と連携して実施してきている。あわせて翻訳通訳の派遣のための語がプレースのである。</li> </ul>										
	次評	●語学ボランティアは16年度20言語96名、17年度21言語95名の登録者がおり、派遣件数は年々増加してきており、17年度は目標値を達									
	<sup>詳</sup>  成した。 価  ●今後も翻訳通訳派遣事業の充実を図るために、語学ボランティアの養成に力を入れていくべきである。										
	指標名	標 会員数(自主財源の確保)						1, 100	実績値	1, 021	
2			実 績		平成15年度	平成16年度	達 成	92. 8%	達成状	未実施・未達成・達成	
	·	単位: 人 <del></del>	)	820	1, 060	1, 086	率		況		
財	取組内容	①年2回会員獲得強化期間を設けた。 ②料理教室、ダンス教室等のイベントなどで会員の特典を効果的に設定し、これをアピールすることにより会員獲得に結びつけた。 ③名称を「賛助会員」から「会員」とすることにより幅広い層からの会員獲得を可能とした。 ④ボランティア活動をしている外国人にも会員登録を勧奨することとした。									
務	一次評価二次	できなかった。 ○名称の変更、外国人への加入勧奨など制度的な整備はできたので、引き続き会員数の拡大に向けて努力していく。 ●国際交流協会の会員数はここ3年ほど1,000人台を確保しており、イベント開催等に伴って会員獲得強化期間を設けるなど、精力的に 新規会員の勧誘を行っている。									
	評	となり、	目標を達	成できなかった。			€して	いたが、17年度は前年	∓度か	いら逆に65名の会員が減ること	
3	価 指標名			獲得に努め、自主 <b>うの検討</b>	<b>り</b> 源の催保を図る。	必要かめる。	目標値	法人化の目途をつける	実績値	法人化検討委員会の 設置とその結論に目 途	
人		去 の 単位:	実 績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成	_	達成状	未実施・未達成・達成	
<b></b>	取			達成のための見せぬ	か取組内家等につい	ア記 1 / アノゼキ/	率		況		
事	組内	①17年10月に武蔵野市国際交流協会法人化検討委員会を設置し、4回の委員会を開催して法人化について検討を重ねた。 ②委員会の暫定的な結論としては公益財団法人を設立すべしであるが、国の公益法人制度改革関連法案の成立後、最終結論を提出する こととした。									
	一	容   									
組	次評	○国の公益法人制度改革関連法案の施行を待たないと明確にできない部分もあるが、法人化の目途はつけられた。 ○今後法人化に関し、協会としての最終結論をまとめた上で、市に対して働きかけを行い、正式な方針を決めてもらう。									
	<u>価</u>										
織	次 評	次 は達成できたと評価する。									
	価 ●今後は、市に対して必要な手続きをとるとともに、国の制度改革の情報収集に努め、適切な対応をとる必要がある。										